
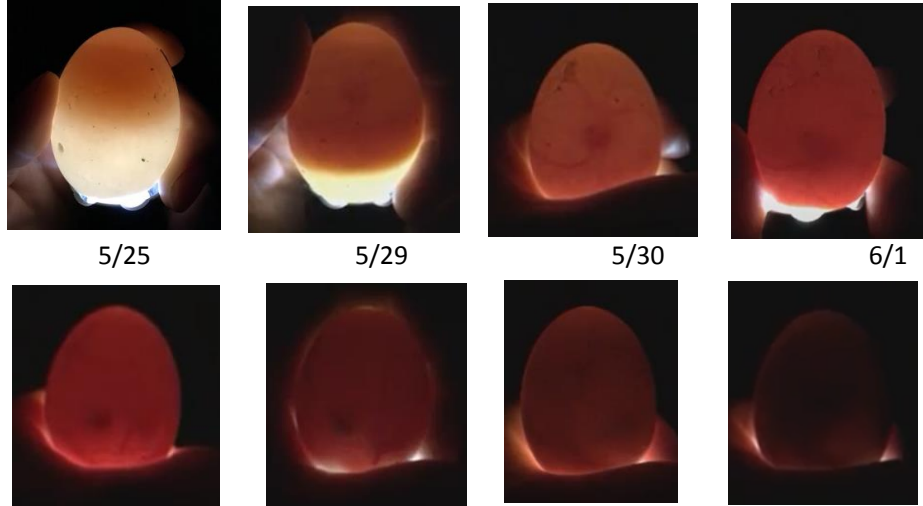









日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
	5月23日			産卵
	5月25日	金		19:00 孵卵開始
	 			
1	6月21日	木		<p>8:00 孵化しているのを発見。7:00には孵化していなかった。まだ濡れている状態である。5/25(金)19:00に孵卵器に入れたことから計算すると、孵卵期間は27日(26時間+12時間)であり、カルガモ平均の26日とほぼ変わらない。卵は鈍端側から割れており、卵の中で正常に成長したことがよくわかる。脚弱や異常もみられない。この日は孵卵器の中で過ごさせる。温度は1日につき1度ずつ下げるようにしていく。プラケースに入れ、母ガモと対面させる。お互い特に反応なし。対面は可能な限り毎日実施。</p>  <p>8:11</p> 
2	6月22日	金		<p>保温をしてケースをうつしかえる。ケース越しに母ガモと対面。母ガモの方を向いていることが多い。母ガモは周りをウロウロとしていた。保温をしながら母ガモと同室飼育する機会を持つ。刷り込み防止の為、自分が世話をするときは黒い布を被るようにした。</p> 
3	6月23日	土	30	ケースを飛びだしそうぐらいである。
4	6月24日	日	36	水にネクトンを加えるようにする。黒子に徹していても、人馴れに傾向あり。

日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
5	6月25日	月	44	水に少しだけ水草を入れる。少しずつ自然のものを食べさせていく。
6	6月26日	火	57	手で捕まえようとするとしっかり逃げる。良い傾向。(夜のBW)
7	6月27日	水	59	ケースから飛んでできるようになってきた。
8	6月28日	木	70	体重が十分増えてきている。足に異常も出ている様子はない。水にネクトンを入れてビタミン不足による脚弱にならないよう維持する。
9	6月29日	金	84	ケースを飛びでるようになってきた。水に少し水草を入れる。
10	6月30日	土	96	水に少し水草を入れる。水に入って大胆に水浴びをする。
11	7月1日	日	100	泳がせてみる。水の上で羽ばたいたり、潜水したりする。この日はあまり体重が伸びていない。
			動画	https://www.youtube.com/watch?v=Q9zO3dCi_Fg
12	7月2日	月	108	
13	7月3日	火	124	昨日よりも体重増加が大きい
14	7月4日	水	139	30cm程度のケースなら余裕で飛んで出てくる。母ガモ飼育場(1.2×1.2m)少しの間仕切りなしで放す。あまり近づいていないためもあるが、攻撃される様子もない。
15	7月5日	木	156	かなり外に出たがる。怪我をしないよう早めにケージを変更する必要がある。
16	7月6日	金	189	下痢のような症状あり。DMを投与。
17	7月7日	土	208	下痢のような症状あり。DMを投与。
18	7月8日	日	213	<p>母ガモと一緒に入れる。母ガモは子ガモにあまり興味なし。近づくと追い払おうとする。エサを死守。</p> <p>子ガモも母ガモに興味を失いつつある。もっと広いところに出たいようで、ぴよんぴよん飛び跳ねてアピール。洗面器で何度も水浴びをする。</p>
				 
19	7月9日	月	218	
20	7月10日	火	236	母ガモの隣を通っても攻撃されなくなってる？
21	7月11日	水	264	親にちょっかいだすなど余裕ができた。
22	7月12日	木	285	体重は順調に増えている。
				
23	7月13日	金	298	
24	7月14日	土	323	脇部分と雨覆いに綿毛ではなく幼羽が生えてきている。
				
25	7月15日	日	337	
26	7月16日	月	356	
27	7月17日	火	395	雨覆いも幼羽になってきている。成長が著しい。

日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
28	7月18日	水	413	<p>ケージにビニールプールを設置。 子ガモは水浴びを楽しんでいる様子。</p> 
29	7月19日	木	431	<p>首や胸のあたりも綿毛から幼羽に変わってきた。 子ガモはプールにて頭を水中に突っ込み採餌行動？</p> 
30	7月20日	金	475	
31	7月21日	土	481	
32	7月22日	日	498	<p>カルガモハウス改装</p> 
33	7月23日	月	505	
34	7月24日	火	528	
35	7月25日	水	537	<p>日中は子ガモが母ガモの後をついて回り、 ちょっかいを出す様子を確認していたが、 夜間に母ガモ死亡。</p> 
36	7月26日	木	562	
37	7月27日	金	590	
38	7月28日	土	616	
39	7月29日	日	613	

日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
40	7月30日	月	622	
41	7月31日	火	671	トマトを刻んでやってみたがよく食べる。
42	8月1日	水	693	
43	8月2日	木	696	
44	8月3日	金	721	
45	8月4日	土	713	
46	8月5日	日	745	
47	8月6日	月	774	
48	8月7日	火	801	翼鏡がかなり目立ってきた。
49	8月8日	水	816	プールに浮かぶ容器で遊ぶ。 
50	8月9日	木	818	朝にエサがすべてなくなっていた。そのため体重の増加が低かったか。
51	8月10日	金	837	
52	8月11日	土	862	
53	8月12日	日	891	
54	8月13日	月	920	
55	8月14日	火	936	1時間放鳥候補地のエカイ沼を見せる。ソワソワしている様子。ただしヒシなどが全面に茂っており、水鳥がいる感じではない。水鳥観察センター付近が最適か。 
56	8月15日	水	911	体重が大きく下がった。元気もあるので原因は不明。水鳥観察センターの職員いわく、センターの前では多いときは20羽程度のカルガモがヒシを食べているよう。もう少し南のヨシ帯のところにはもっと多くのカルガモがいるようだが、観察は難しい様子。 

日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
57	8月16日	木	941	初列風切もすべて綺麗に伸びきっている。 
58	8月17日	金	940	体重が安定してきた。
59	8月18日	土	915	ニゴイを2匹入れてみる。EMも。 水鳥観察センター付近にて景色を見せる。 
60	8月19日	日	921	アユとカワエビを与える。食べた様子。 ウイングマーカー等を試してみた。 ウイングマーカーはかなり気に入る。 また猛禽に比べて上腕骨が短く感じる。 使えない。 両翼だけのバックパックは最初のみ気に入る。 ただし羽に埋もれる。 前後にかけるパターンも最初のみ気に入る。 ただし、こちらは座ったときに首でくぐれそうなくらい緩む。 水鳥観察センター付近にて景色を見せる。 
61	8月20日	月	906	
62	8月21日	火	935	
63	8月22日	水	925	朝に30分ほど景色を見せる。
64	8月23日	木	969	45分景色を見せる。
65	8月24日	金	936	バックパックとして実際使用する発信機、カラーリング(H10)等を装着。バックパックは翼に8の字掛け。発信機とマーカーの重量は6.3g。 測定:255、80、51.0、56.2、118.8   
66	8月25日	土	951	2時間景色を見せる。自らマーカーをはずしている。夜は逃げない。疲れている様子。

日齢	日付	曜日	BW(g)	備考
----	----	----	-------	----

